

キューピーが取り組む食育活動について

キューピー株式会社

広報・CSR本部 CSR部 食育推進チーム 池田律子

キューピーグループは、社是社訓を基本とした理念の考え方のもと、私たちの活動を支えてくださっているお客様、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会などのステークホルダーの皆様から、最も信頼していただけるよう私たちの姿勢を「グループ規範」として表しています。グループ規範の心を一人ひとりの従業員が理解して、誠実に順守していくことは、企業としての一層の透明性とお客様からの信頼につながると考えています。行動規範では、「食育を中心とした社会貢献」を掲げています。私たちは、食育を中心とした社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図るとともに、食を通じた人々の健康に貢献したいと考えています。

現在キューピーが進めている食育活動に「マヨネーズ教室」があります。マヨネーズ教室は、「食の楽しさ、大切さを伝える」ことを目的に小学校を訪問して実施している出前授業です。2002年に開始し、2015年度には延べ406校、2万人を超える小学生を対象に実施しました。マヨネーズ教室の講師は、社内認定制度「マヨスター」に認定された従業員です。2016年7月末現在でマヨスターは150人となりました。このマヨスターをはじめとする従業員主体の食育活動として推進しています。マヨネーズ教室は、はじめに野菜とマヨネーズの話をし、次に子ども達がグループに分かれて実際にマヨネーズの手づくりを体験し、野菜につけて試食します。身近な食品が何からできているかを知り、決して混ざらないお酢と油が卵黄の力によって混ざり合う過程が体感できます。試食は、グループごとの仕上がりの比較、工場製との比較をし、その違いの理由を子ども達と一緒に考えます。この機会に、食べられなかった野菜が食べられたという声を聞くことはめずらしくありません。子ども達が野菜を食べるきっかけを得るための時間の共有は、教室運営を担当した従業員にとっても大きな喜びになります。

また、その他の活動として、全国5工場で実施しているオープンキッチン（工場見学）があります。「工場は家庭の台所の延長」との考えのもとに1961年に開始しました。2014年オープンのマヨテラスとあわせて、2015年度は約11万人のお客様とコミュニケーションの機会を持ちました。2017年春には新たに神戸工場のオープンを予定しています。工場見学、マヨテラスでのお客様との出会いの場においても「食の楽しさ、大切さ」をお伝えしていきたい

とキューピーは考えています。1973年より毎月発行している食と健康に関する情報誌「キューピーニュース」、講演会活動、メディアライブラリー等の取り組みもあわせてご紹介いたします。

講師プロフィール

池田 律子 (いけだ りつこ)

広報・CSR本部 CSR部 食育推進チーム チームリーダー

1970年 生まれ

1993年 麻布大学環境保健学部卒業

キューピー株式会社 入社 品質保証本部配属

現在 広報・CSR本部 CSR部 食育推進チーム チームリーダー

食育推進チームでは、見学施設「マヨテラス」をはじめ、工場見学、出前授業「マヨネーズ教室」、講演活動の運営により、キューピーの食育活動の推進を担当している。